

# 「長良川河口堰の現在の課題 と最適運用について」

愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会では、これまでの10年間、長良川河口堰の最適運用について検討してきました。

今般、これまでの課題を整理しつつ、従来の対応の延長線上で考えるのではなく、大きな変化の中にある日本の社会経済状況を踏まえて未来を見据えた新たな歩みを進めるため、長良川河口堰に関する「治水」、「利水」、「環境」が直面する課題に対応し、上流から下流、そして海までの長良川流域全体を見通して、「長良川河口堰の開門調査」、それに先立つ「試験開門（プチ開門）」の検討課題を整理することとしました。

今回の講座ではこれまでの検討を踏まえ、各課題に関する広い視点から長良川を語ります。

**日時：令和4年3月26日（土）**

**13：00～16：40（開場：12：00）**

**会場：ウインクあいち**

**10F 1002会議室**

（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）  
JR名古屋・名鉄名古屋・近鉄名古屋  
よりミッドランドスクエア方面に  
徒歩5分

開場（受付開始） 12：00～

イントロダクション 13：00～

**第一部** 13：05～（80分）

**講演：「流域治水への歴史的転換とこれからの課題」**

講師 嘉田 由紀子氏（参議院議員・前滋賀県知事）

**報告：「長良川河口堰の現在の課題と最適運用について」**

報告：武藤 仁 氏（愛知県長良川河口堰最適運用検討会委員）

**第二部** 14：40～（120分）

**パネルディスカッション**

コーディネーター：小島 敏郎 氏（愛知県政策顧問）

パネラー

嘉田 由紀子 氏（講演者）、武藤 仁 氏（報告者）

伊藤 達也 氏（法政大学文学部 教授）

蔵治 光一郎 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科・教授）

新村 安雄 氏（環境コンサルタント・映像クリエイター）

向井 貴彦 氏（岐阜大学地域科学部 教授）

**総司会** 原田 さとみ 氏（エシカル・ペネロープ（株）代表）

【定員】

**50名**

（参加費無料）

【申込期間】

**2/22（火）**

**～3/18（金）**

# 県民講座「長良川河口堰の現在の課題と最適運用について」

## 出演者プロフィール



**嘉田 由紀子 氏**  
参議院議員・前滋賀県知事  
滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員、京都精華大学教授を歴任し、2006年滋賀県知事に当選。琵琶湖環境政策、流域治水政策など新機軸を開き2014年勇退。その後、びわ湖成蹊スポーツ大学学長を経て、参議院議員。著書は『流域治水がひらく川と人との関係』など。



**武藤仁 氏**  
長良川市民学習会事務局長  
岐阜市生まれ。2010年名古屋市上下水道局退職。技術士（上下水道部門）。1980年代から木曾三川流域のダム・水問題の市民運動に参加。2007年から長良川市民学習会事務局長を務め現在に至る。



**小島敏郎 氏**  
元青山学院大学国際政治経済学部教授／愛知県政策顧問／名古屋市経営アドバイザー  
東京大学法学部卒業後、環境庁入庁。環境基本法を始め、主要な法律の制定業務を担当し、2005年から地球環境審議官に就任。気候変動枠組条約などに取り組み、2008年退官。



**伊藤 達也 氏**  
法政大学文学部 教授  
愛知県碧南市生まれ、金沢大学法文学部を卒業後、名古屋大学にて学位を取得。金城学院大学現代文化学部教授を経て現職。著作は、「水資源開発の論理」、「木曾川水系の水資源問題」など。



**蔵治光一郎 氏**  
東京大学大学院農学生命科学研究科教授  
1989年東京大学農学部林学科卒、専門は森と水の科学、森と水と人の関係。2003～16年に愛知県瀬戸市の東京大学演習林生態水文学研究所に勤務。著書に『緑のダムの科学－減災・森林・水循環』『森の「恵み」は幻想か－科学者が考える森と人との関係』など。



**新村安雄 氏**  
フォトエコロジスト／リバーリバイバル研究所主宰  
生き物と人のかかわりをテーマに水中の視座から映像記録・執筆活動を行う。長良川うかいミュージアム、滋賀県立琵琶湖博物館、世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふなどの映像制作。著書に「川に生きる」「長良川の日」「シーボルトが見た日本の水辺の原風景」など。



**向井貴彦 氏**  
岐阜大学地域科学部教授／日本魚類学会自然保護委員  
専門は魚類学、生物地理学、保全生態学。日本列島の自然の成り立ちや、生物の進化や多様化についての研究を行うとともに、絶滅危惧種の保全や外来種対策などの活動も行っている。著書に「岐阜県の魚類」「見えない脅威“国内外来魚”」など。



**原田さとみ 氏**  
エシカル・ベネロープ（株）代表／NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク理事／名古屋観光文化交流匿名大使／JICA中部オフィシャルサポーター  
環境・人・社会に配慮した“思いやり”のエシカル理念の普及とともに、貧困削減・環境保護・地域貢献につながるフェアトレードを推進。名古屋市をフェアトレードタウン認定都市とする。

## 参加申込書〔申込期間〕

令和4年2月22日(火)～3月18日(金)まで

氏名 (必須)

住所 (必須)

電話番号 (必須)

【お問い合わせ・申込先】 愛知県建設局水資源課  
TEL :052(954)6121 FAX:052(961)3293  
MAIL:mizushigen@pref.aichi.lg.jp

### 申込に関する注意事項

- ◆ 電子メール又はFAXによりお申込みください。
- ◆ 定員は50名となります。定員となり次第、募集を締め切らせていただきます。
- ◆ 新型コロナへの感染拡大を防止するため、座席指定の事前申込制としております。当日参加は許可しませんので、参加希望の方は必ず事前申込をお願いいたします。また、申込が定員を超えた場合は参加をお断りすることがあります。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、予告なく内容等を変更する場合があります。
- ◆ 新型コロナ対策として、参加者の追跡が必要となる可能性がありますので、必須事項は必ず記入してください。必須事項に記入が無い場合の参加は受付できません。
- ◆ ご記入いただいた個人情報は、原則として本講座に関してのみ利用させていただきますが、新型コロナ感染対策のとして、保健所等の公的機関へ提供することがあります。

### 参加に関する注意事項

- ◇ 会場等の秩序を乱す行為、運営を妨害する行為は禁止します。お守りいただけない場合は、退席していただく場合があります。
- ◇ 参加に際してはマスクの着用をお願いします。
- ◇ 当日はアンケートの協力をお願いしますので、筆記具をご持参ください。
- ◇ 駐車場の用意はございませんので、公共交通機関をご利用ください。